

# 事業の現況(2020年4月)

## 1. 営業の状況 (延長 2,151km : 2020.5.21 現在)

2020年4月

料金収入(百万円)			通行台数(千台)《日平均》		
当月計	前年同月計	対前年同月比	当月計	前年同月計	対前年同月比
37,991	58,428	▲35.0%	1,369	2,019	▲32.2%

### ■解説

4月7日に発令された緊急事態宣言に伴う不要不急の外出自粛要請の影響により、前年同月と比べ料金収入・通行台数ともに大幅に減少しました。車種別に通行台数をみると、小型車のご利用が38.2%の減少と顕著で、大型車のご利用は11.4%の減少でした。

なお、通行台数に比べて料金収入の減少が大きいのは、都道府県をまたいでの移動の自粛要請の影響から、1台あたりの走行距離が短くなり通行料金が安くなったためです。

また、料金収入・通行台数ともに、**民営化(2005年10月)以降で最大の減少率**になりました。

## 2. サービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)の状況

(1) SA・PA の総数 181カ所(うち営業施設のあるエリア数 166カ所)

※上下線を集約している SA・PA は1カ所としてカウント

(2) SA・PA の売上高(百万円)

2020年4月

項目	当月実績	前年実績	対前年同月比
<b>売上高</b>	<b>8,691</b>	<b>18,308</b>	<b>▲52.5%</b>
飲食・物販	4,009	11,534	▲65.2%
ガソリンスタンド	4,682	6,775	▲30.9%

### ■解説

#### 【飲食・物販部門】

緊急事態宣言に伴う不要不急の外出自粛要請の影響により高速道路をご利用になるお客さまが減少したことに加え、お客さまがいわゆる「3密」状態を避けて商業施設への立ち寄りも減少したため、**飲食・物販部門の売上高は昨年を大きく下回る結果**となりました。

#### 【ガソリン部門】

昨年に対して、全油種の給油数量が下回ったことに加え、全油種の販売単価が下落したことにより、**ガソリン部門の売上高も昨年を下回る結果**となりました。

なお、飲食・物販部門、ガソリン部門ともに**民営化(2005年10月)以降で最大の減少率**になりました。

### 3. 建設の状況（2020.5.21 現在）

【2020 年度の開通予定区間 延長 19km】

- ①E1A 新東名高速道路 御殿場 IC～御殿場 JCT 7km
- ②C2 名古屋第二環状自動車道 名古屋西 JCT～<sup>とびしま</sup>飛島 JCT 12km



※C(インターチェンジ)名, SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)。道路名等の名称は仮称のものも含みます。